

中國出土資料學會
平成26年度大会（第3回例会）

日 時：平成27年3月14日（土）
平成26年度大会（第3回例会）
受付開始 12：30～
研究報告 13：00～17：00
総 会 17：00～18：00

場 所： 東京大学 法文1号館216教室（東京都文京区本郷7-3-1）
会場へのアクセス：■地下鉄丸ノ内線・大江戸線・・・本郷三丁目駅下車徒歩8分
■地下鉄南北線・・・東大前駅徒歩3分
■地下鉄千代田線・・・根津駅徒歩10分

報告Ⅰ 横山 慎悟（九州大学人文科学府中国哲学史専攻後期博士課程）

発表題目：清華簡に見る伊尹説話形成に関する一考察

発表概要： 清華大学が2008年に入手した所謂「清華簡」には、主君である湯に夏王朝討伐や民衆救済を説く伊尹の姿を描く『尹至』・『尹誥』（『清華大学蔵戦国竹簡（壹）』、清華大学出土文献研究と保護中心編・李学勤主編、中西書局、2010年12月所収）、シャーマンの能力を用いて夏王を救う伊尹の姿を伝える『赤髡之集湯之屋』（『清華大学蔵戦国竹簡（参）』、清華大学出土文献研究と保護中心編・李学勤主編、中西書局、2012年12月所収）という伊尹説話を伝える三篇が含まれていた。これら三篇の簡背面には連続する劃線が存在し、そのために三篇が同一巻の中で一つの物語のように関連付けられていた可能性が指摘されている。

本発表では、伝世文献や他の新出土楚簡文献との比較から、上記三篇に登場する伊尹の性格の特質を明らかにするとともに、異なる性格の説話を伝える『尹至』・『尹誥』二篇と『赤髡之集湯之屋』とが関連付けられた背景について考えたい。

報告Ⅱ 王 安泰（日本学術振興会外国人特別研究員）

発表題目：北魏前期の爵制と「南巡碑」

発表概要： 周知のように、北魏前期の爵制は、鮮卑固有の体制と関連つけてかんがえられてきた。たとえば、「北魏文成帝南巡之頌碑」（以下、「南巡碑」という）にみられる、胡族系官職、将軍号、爵位もそうした文脈の中でとらえられている。

しかし、「南巡碑」には多くの「男」爵が存在しており、それらは北魏道武帝以来の三等爵制（すなわち公侯子三等）と異なるものである。北魏前期の爵制は実封であるとする見解があるが、報告者のみるところ「南巡碑」中の封国には、南朝の領域に存在するものがある。では、こうした従来いわれている北魏爵制とのズレは、どのように理解すべきなのであろうか。

かかる問題意識から、本報告は北魏前期の爵制について再検討し、以て当該時代における国制の一端を明らかにせんとするものである。

報告Ⅲ 吉富 透（青山学院大学非常勤講師）

発表題目：出土楚簡の占夢伝承から見た屈原作品の構成について

発表概要： 出土楚簡と『楚辞』屈原作品の関係を全体的に探ることは、まだ困難な状態だが、歴史伝承の比較検討は十分に可能である。今回、王者と天命の占夢に及ぶ清華簡『程寤』『説命』などを取り上げ、屈原作品中の歴史伝承と比較検討してみる。

ただし屈原作品中、天問篇だけは他の作品と分けなければならない。なぜならば天問篇の性質に近い上博楚簡『三徳』に見える「后帝」「天命」が、今回取り上げる楚簡にも見える重要語句であるのに対し、離騷篇など他の作品には見えないからである。

これは、楚簡資料の占夢伝承の対象者と天問篇の間われる対象者が王者であるのに対し、離騷篇などは屈原一個人の去就を占わせるものであるように、対象者の違いが要因であると考えられる。

屈原作品の構成を分類できると考えられるようになったのも、近年楚簡資料がますます充実してきたからである。これらの比較を通して屈原作品二十五篇の構成について言及したい。

報告Ⅳ 朱 鳳瀚（北京大学歴史学系教授・出土文献研究所所長）

発表題目：北京大学藏西汉竹书《苍颉篇》の新启示

発表概要： 《苍颉篇》是秦始皇时期丞相李斯所编字书。西汉時将此书与其他两部秦代字书《爰歷篇》、《博学篇》合一，仍名《苍颉篇》，但以上秦汉版本久已失传，近年来虽多有此书残简出土，成为迄今所能见到的中国最早的字书，但对全书的面貌长久以来所知甚少。2009年北京大學出土文献研究所收藏的西汉简《苍颉篇》，现存87枚，綴合后有完整的简62枚，残简20枚。保存有1317个字。比此前出土保存文字最多的阜阳双古堆汉简《苍颉篇》字数多出一倍以上。不仅如此，北大简《苍颉篇》虽抄写年代可能在汉武帝時，但在面貌上仍接近于秦本，第一次使秦本的篇章结构、句式与句子的排列方式展示于世人面前，为了解秦本《苍颉篇》的原貌提供了极为宝贵的资料，同时也增加了学界对秦代三种字书的编撰情况、秦汉时利用此书教授学生的方法以及《苍颉篇》不同本子在西汉时期社会功用的认识，堪称中国出土文献中具重大学术意义之发现。

☆参加費(資料代) 500円

☆非会員の来聴を歓迎します

☆大会終了の後、懇親会を行う予定です。ふるってご参加ください。

連絡先（例会委員長）

〒270-8555

千葉県松戸市新松戸3-2-1

流通経済大学教育学習支援センター

富田 美智江

Tel : 047-340-0057

Fax : 047-340-0068

E-mail : tomita-michie@rku.ac.jp

